

〔校 訓〕 考える学校 ～皆で一緒に考えながら、素敵な学校にしていこう～
〔教育目標〕 すすんで学び 心身ともに 健康で 思いやりのある 人になる

I 明保中学校の使命

子どもたちが大人になったとき、堂々と生きていけるようにする。

II スローガン

毎日行きたくなる学校

III 教育活動の方針

- 1 「一人でじっくり考える活動」「自分の思いや考えを人に伝える活動」を重視し、生徒主体の授業を行い、困難な課題に対しても、自ら考え、他者と協働しながら、立ち向かう力を育成する。
- 2 「人から感謝される活動」「人から必要とされる活動」を重視し、学校への登校意欲を高めながら、自分や他の人を大切に作る心を育む。
- 3 「運動の得意・不得意に関わらず皆で一緒に体を動かす活動」を重視し、生涯にわたって体を動かすことの大切さや人と一緒に運動することの楽しさを実感させる。
- 4 「生きていることの喜びや楽しさを実感できる活動」を重視し、生徒の自己表現を促進させるとともに、他者との協力を通して自己成長や達成感、友情を育む。

IV 教職員の行動指針（5J「人権・迅速・柔軟・授業・情熱」を大切にしたい組織を目指す）

- 1 「教育相談、教育支援」の考え方を基本に、生徒の資質・能力を伸ばす指導を行う。
 - (1) 集団の中では、積極的に教員から声をかけ、丁寧な言葉遣いを心がける（存在を認める）
 - (2) 困ったときに一緒に考え、助けてあげられる存在になる。（笑顔と共感）
 - (3) 「生徒の声」を大切にしたい対応を行う。（寄り添い傾聴する）
 - (4) 生徒に分かるように伝える。（聞きやすく話す）
 - (5) 生徒の「学びたい」「知りたい」「解きたい」という意欲を伸ばす。（教材の工夫やICTの活用）
 - (6) 生徒のポジティブな側面を認める・褒める・賞賛する。（可能性を伸ばす）
- 2 保護者、地域住民、学校が同じ歩調で生徒の幸せを考え、行動する。
 - (1) 学校と生徒間のみで物事を考えるのではなく、「保護者、地域住民の思い」を尊重かつ大切にしたい対応を心がける。（安心して子どもを送り出せる学校にする）
 - (2) 相手の思いや考えを受け止め、共感と積極的な関わりをとおして信頼関係を築く。
 - (3) 相手の不安や苦勞を理解し、会話から安心と信頼へつなげる。
- 3 「見えないところこそ真面目に行動する」ことを意識し、生徒の命、学校への信頼を守り抜く。
 - (1) 教育公務員としての自覚と責任ある行動をする。（教職員も一日一善を基本姿勢にする）
 - (2) 互いの言動を点検し合いながら服務事故を未然に防止する。
 - (3) 奉仕者として社会や人のために尽くす。
 - (4) 人権感覚を磨き、常に学ぶ姿勢を忘れず、謙虚な態度で接する。
- 4 未来を見据えた職務遂行と持続可能な開発のための教育を実践する。
 - (1) 他校と情報共有しながら、教育効果の向上、最先端技術への挑戦、民間企業との連携、時間や費用のスリム化、職員のライフ・ワーク・バランスの実現に努める。
 - (2) 全職員が平日（授業日）に年1日（8時間）以上、校務に支障がない範囲で計画的に年休を取得する。